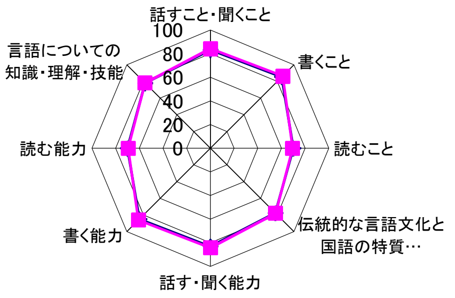
宇都宮市立若松原中学校 第３学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと･聞くこと	83.3	84.3	81.2
	書くこと	85.4	86.4	74.0
	読むこと	70.0	69.5	64.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.8	77.9	70.6
観点別	話す･聞く能力	83.3	84.3	81.2
	書く能力	85.0	86.0	74.2
	読む能力	70.0	69.5	64.8
	言語についての知識･理解･技能	78.0	78.1	70.6

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（国語では本市独自の設問が含まれるため，参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

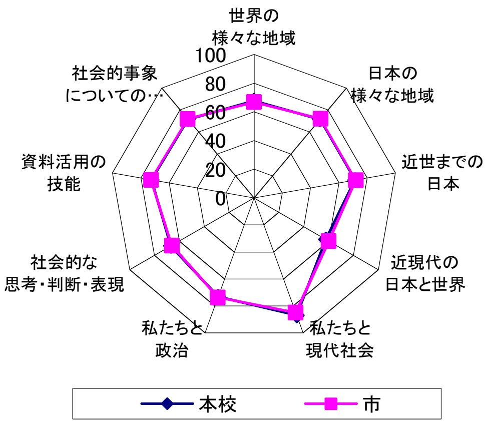
〇良好なもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●市と比べると1ポイント低い。 〇参考値は上回っており，正答率も8割を超えている。	･筋道を立てて話すことや要点を絞って聞き取る能力を高められるよう，話し合い活動を繰り返し指導していく。
書くこと	●市と比べると1ポイント低い。 〇参考値を大きく上回っており，正答率も85%という好成績を修めている。	･書く練習は度々行っているので，継続して指導していきたい。 ･個別指導を通して，書くことへの苦手意識を減らしていく。
読むこと	〇市，参考値ともに上回っている。 ●正答率が7割と他に比べて低い。	･要点を抜き出したり，要約したりする機会を増やし，正確に情報を読み取る力を伸ばしたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	〇市とほぼ同レベルである。 〇参考値を大きく上回っている。	･文法に対する苦手意識があるため，基礎基本の徹底を図る。 ･漢字を書くことに対して抵抗があるので，漢字を書く機会を増やす。

宇都宮市立若松原中学校 第３学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	世界の様々な地域	67.7	66.8	54.1
	日本の様々な地域	71.5	72.1	63.4
	近世までの日本	71.5	72.0	62.0
	近現代の日本と世界	57.9	60.0	55.2
	私たちと現代社会	87.0	85.0	73.0
	私たちと政治	73.2	73.7	71.2
観点別	社会的な思考･判断･表現	66.9	66.1	52.0
	資料活用の技能	72.4	72.8	63.0
	社会的事象についての知識･理解	71.5	72.0	64.9



※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（社会では本市独自の設問が含まれるため，参考値は全設問に対応した値ではない。）

★指導の工夫と改善

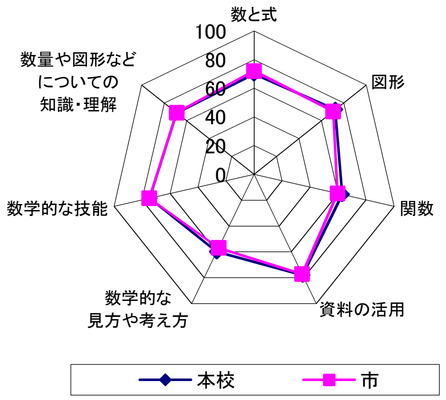
○良好なもの　●課題が見られるもの

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	○市の平均と比べ，やや高い。 ○アジア州の人口分布について概ね理解している。 ●図を用いて考える問題では，市の平均を上回っているものの，6割以下の正答率にとどまっている。	･授業において図を用いてその変化を読み取ったり，説明したりする学習を繰り返し行っていく。 ･既習事項の復習を行う。
	日本の様々な地域	○日本の地域区分や自然災害など世界と比べた日本の地域的特色をよく理解している。 ●市の平均と比べ，やや低い。 ●日本の農業や工業についてグラフから読み取ることが苦手な生徒が多い。	･授業においてグラフの読み取り方の基本を確認し，グラフから読み取れることを記述したり，説明したりする学習を繰り返し行っていく。 ･各地の産業について既習事項の復習を行う。
歴史	近世までの日本	○奈良時代の税や生活の様子について資料を読み取り説明することができている生徒が多い。 ○仮名文字など国風文化について理解している生徒が多い。 ●市の平均と比べ，やや低い。 ●寺子屋のような江戸時代の庶民の生活についての理解が不十分な生徒が多い。	･江戸時代の庶民の生活がどのようなものであったのか復習を行うとともに，江戸時代にはどのような産業が発達したのかなどそれまでの時代との違いについて復習を行う。
	近現代の日本と世界	○戦後の冷戦や世界の動きについて理解している生徒が多い。 ●市の平均と比べ，低い。 ●産業革命やそれが与えた影響について理解が不十分な生徒が多い。 ●産業革命についての資料の読み取りができていない生徒が多い。	･世界で起こった産業革命とそれが貿易に与えた影響，また日本に与えた影響などについて復習を行う。 ･近現代に起きたさまざまなできごとの関係をまとめるような学習を促す。
公民	私たちと現代社会	○市の平均と比べ，高い。 ○対立合意，効率と公正など実際に社会で起きた問題をどのように解決していけばよいのか考えることができている生徒が多い。 ●資料から社会の変化を読み取ることができている生徒は多いが，その平均は市よりわずかに高い程度にとどまっている。	･現代の社会で起きている問題を授業の中で取り上げ，今社会でどのような問題や変化があるのかについて関心を高め，理解を促していく。
	私たちと政治	○市の平均とほぼ相違はない。 ○裁判のしくみについて9割近くの生徒が理解している。 ○基本的人権や地方自治のしくみについて理解している生徒が多い。 ●法律が制定されるまでの過程について理解が不十分な生徒が多い。	･法律の制定過程や国会，内閣，裁判所の関係など国政について実際の例を示しながら復習を行っていく。 ･日頃から新聞を読み，政治の動きへの関心を高める指導を行っていく。

宇都宮市立若松原中学校 第３学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	70.2	72.1	70.7
	図形	72.4	70.5	58.1
	関数	63.0	59.6	52.1
	資料の活用	78.0	77.2	64.1
観点別	数学的な見方や考え方	59.8	56.9	47.7
	数学的な技能	74.5	74.9	69.2
	数量や図形などについての知識・理解	68.9	68.9	59.8



※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（数学では本市独自の設問が含まれるため，参考値は全設問に対応した値ではない。）

★指導の工夫と改善

〇良好なもの　●課題が見られるもの

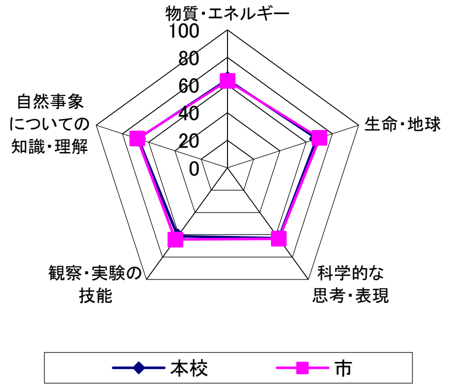
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	・領域全体の正答率は市の平均を若干下回っている。 〇累乗を含む正負の計算はよくできている。特に2次方程式の解き方は大きく上回っている。 ●因数分解や根号を含む式の乗法が大きく下回っている。	・平方根の加法，乗法や平方根を用いた問題解決に課題が見られる。普段の生活で聞き慣れない数についての学習のため，基本を中心にくり返し課題に取り組み，基本の定着を図っていく。さらに複雑な計算に取り組ませることにより，最後まであきらめず計算する力を身に付けさせる。
図形	・領域全体の正答率は市の平均を上回っている。 〇相似な図形の証明や証明の過程の理解は市の平均を大きく上回っていて，定着している。 ●平行線と同位角，錯角を若干苦手としている。	・全体的にはよく理解しており定着が見られる。合同の証明が市の平均は上回っているが，正答率は低めである。証明を分かりやすく書くことに不慣れな生徒がいるので，穴埋め問題やヒントカード等を活用し，証明に取り組みやすくしていく。
関数	・領域全体の正答率は市の平均を大きく上回っていて，単元により10ポイント以上上回っている内容も見られる。 〇χの2乗に比例する関数では全内容で市の平均を大きく上回り，理解度が高い。	・理解度は高く，より伸ばしていきたい領域であるため，授業や課題で計画的に発展問題にも取り組ませ，一層の伸長を図る。文章から関数の関係を見つけ，式で表したり，グラフで表したりする学習が苦手でありくり返し問題に取り組ませていく。
資料の活用	・領域全体の正答率は市の平均を若干上回っている。 〇確率の内容では全範囲で市の平均を上回っていて，くじやカードを引く内容の理解が定着している。 ●資料の活用は内容により理解度にばらつきが見られる。	・樹形図を用いて確率を求める基本的な学習内容は定着している。資料の整理では相対度数など用語の理解不足からの正答率の低さが考えられるので，用語の確認を随時行うなど，簡単な復習に力を入れ取り組んでいく。

宇都宮市立若松原中学校 第３学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	64.1	63.0	57.9
	生命・地球	68.1	70.2	65.2
観点別	科学的な思考・表現	63.0	63.5	57.5
	観察・実験の技能	61.4	64.3	61.5
	自然事象についての知識・理解	68.1	68.6	64.0

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの　●課題が見られるもの

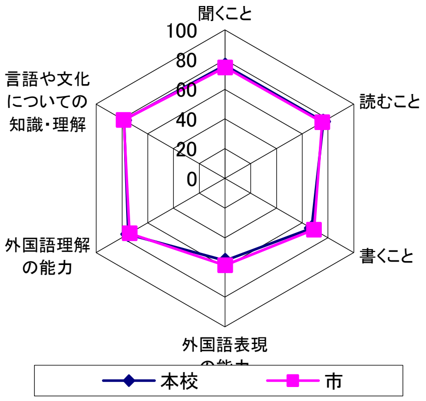
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○正答率は市の平均を上まわっている。 ○光と音の性質の規則性について，基礎な内容を概ね理解している。 ○さまざまな化学変化や酸・アルカリとイオンを原子・分子と関連づけて理解している生徒も多い。 ●物体のいろいろな運動を調べるための，速さの計算は苦手な生徒が多い。	・実験結果から考察をする際，グループや学級で話し合い活動の場面を多く設定する。 ・演習に活用の問題を多く取り入れ，考える力を伸ばす。 ・既習事項と日常生活との関連を意識させる機会をさらに多く設ける。
生命・地球	●正答率は市の平均をやや下まわっている。 ○植物・動物のつくりやはたらき，分類について基礎な内容を概ね理解している。 ○生物の成長，生殖，遺伝について概ね理解している。 ●天気の変化の原因についての理解がやや不足している。	・基本的な用語と意味は理解しているので，それらの知識を活用できるよう考えさせる場面を多く設定する。 ・反復学習を多く行わせ，問題に慣れさせ，学習内容の定着を図る。 ・天気の変化をより身近に感じるためにもテレビや新聞等で日ごろから天気予報を見る習慣をつけさせる。

宇都宮市立若松原中学校 第３学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	76.0	74.8	66.0
	読むこと	76.3	75.5	66.9
	書くこと	67.2	69.1	64.8
観点別	外国語表現の能力	55.5	58.5	53.9
	外国語理解の能力	75.3	74.1	65.7
	言語や文化についての知識・理解	78.3	78.8	71.8

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

〇良好なもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	〇正答率は市の平均を上回っている。 〇絵を見て答える問題，英文の要点を聞き取る問題など内容理解を主とするリスニング問題は，おおむね理解している。 ●対話文を聞き取り，適切に応答する問題で正答率が低くなっている。特に，対話文を聞き取り，記述で答える問題の正答率が市平均と比べて4ポイント低い。	・授業の中で，口頭による英問英答を行ったり，英語による対話に慣れ親しむ機会を増やす。特に，ティームティーチング（ALT，JTE）の授業の時には，英語での対話を多く聞かせるようにしたい。 ・教科書の本文を聞く時は，TFQuizや穴埋め問題をさせるなどして，集中して聞きとらせるようにする。
読むこと	〇正答率は市の平均を上回っており，特に英文の読み取り問題の平均点が高い。 ●語形・語法の知識・理解の問題では，受け身や関係代名詞の文法事項の問題で市の平均を下回っている。	・語形・語法の問題では，文法事項を教えたあと，時間が経つと忘れてしまう生徒が多いので，繰り返し指導し，定着させていく。 ・長文を読む機会を増やし，特に英問英答で答える問題も対応できるように指導していきたい。
書くこと	〇英単語を正しく書く問題は正答率が高い。 ●正答率は市の平均をやや下回っている。 ●特に場面に応じて書く英作文や3文以上の英作文の問題など記述式問題の正答率が低い。 ●It is 〜for__to･･･.の並べ替え問題の正答率が市の平均を大きく下回っていた。	・単語を覚えるだけでなく，基本文も覚えられるように反復練習をしたり小テストを行ったりして，正しく書ける力をつけるような指導をする。 ・文法事項を学んだ後自己表現活動に取り組み，まとまった文章を書く機会を増やす。